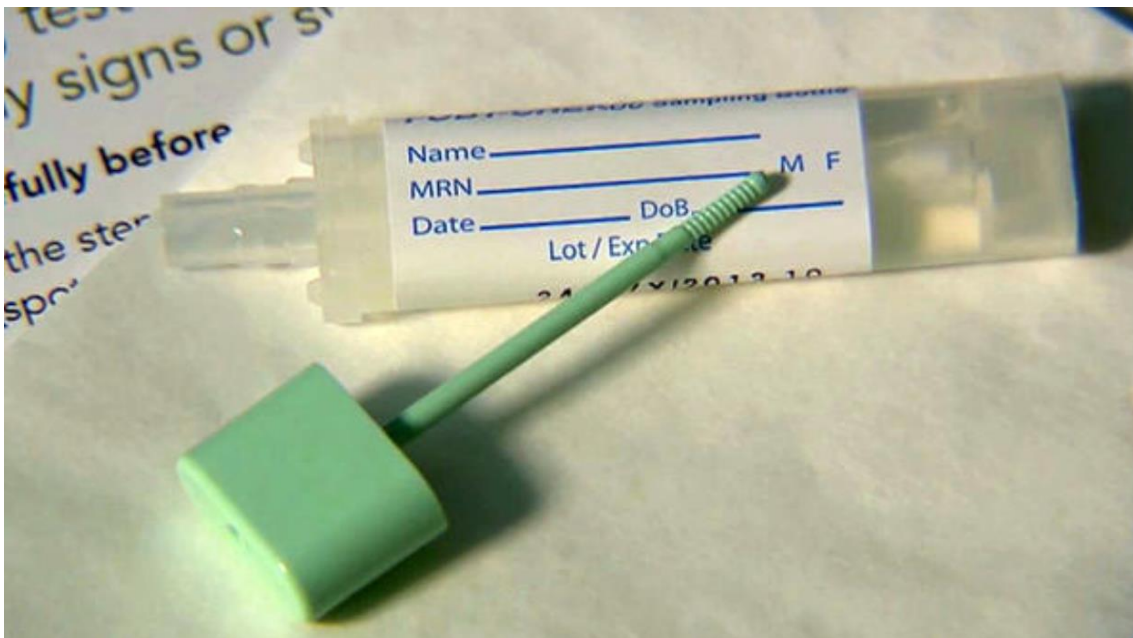
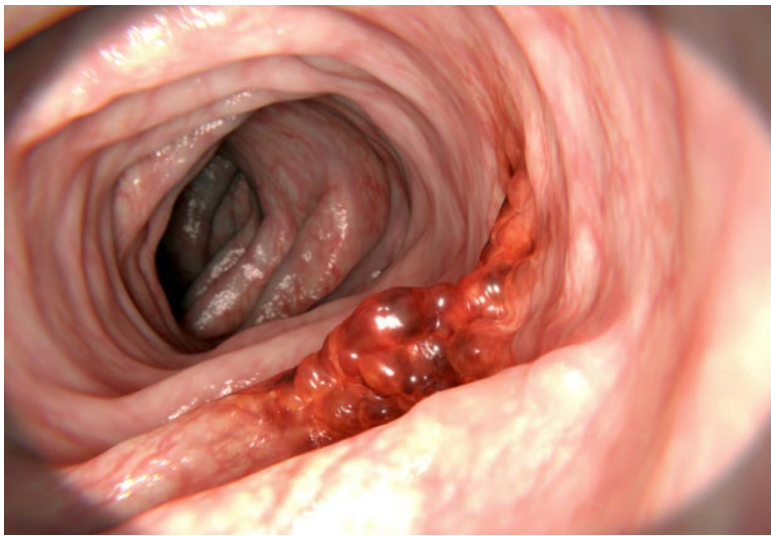


# 便潜血検査の至適閾値と大腸内視鏡検査

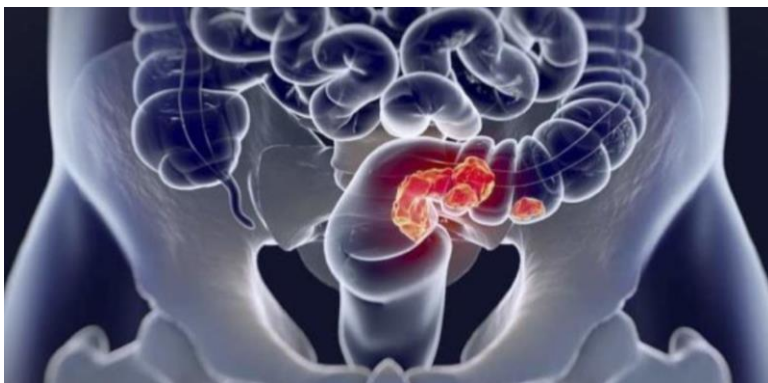
米国で大腸癌検査の対象となり、免疫化学的便潜血検査（FIT）を受けた50-75歳の成人64万859人を対象に、ヘモグロビン定量値の至適閾値を検討した結果が「Annals of Internal Medicine」誌に掲載されました。



陽性閾値を  $30\mu\text{g/g}$  から  $20\mu\text{g/g}$  にすると、癌検出率は  $66.0\%$  から  $74.3\%$  へ、 $10\mu\text{g/g}$  にすると  $79.3\%$  へ上昇しました。



さらに、従来のFIT 閾値  $20\mu\text{g/g}$  では、癌検出率は加齢により低下しました ( $P=0.009$ )。



便潜血陽性の方は、「半年以内に必ず」大腸内視鏡検査を受けましょう。